

ギガ きたくの GIGA スクール

ひとりいちだいたんまつ

「1人1台端末」は、学びをどう変える？

第2号 2020年(令和2年) 9月20日





発行 北区教育委員会事務局

・GIGAスクール構想推進プロジェクトチーム









・教育振興部 教育政策課

北区は、令和3年度から、『1人1台端末』の環境による教育が実践できるよう、取り組んでいます。今回は、『GIGAスクール構想』が目指す学びについて、一緒に学んでいきましょう！








★1人1台端末で、「令和の学び」が始まる

	『GIGA スクール構想』で、臨時休業となっても、オンラインを活用した学習により、子どもたちの学びを途切れさせないということは分かったけど。ほかにメリットはあるの？
	重たい思いをして、毎日持っていく教科書が、すべてデジタル教科書になって「学習用端末」に入る日がくるかもしれません。 宿題も、ネットワーク経由で情報をやりとりできる「クラウド」に出題・提出するとか。
	そうだったらいいな。学校の行き帰りも、荷物が軽くなってずいぶん楽になる。 その代わりに、毎日、「学習用端末」を持って帰ることになりそうだけど。
	いつでも、どこでも、「学習用端末」が使えるようになる。 そのほかにも、変わることはたくさんある。『GIGA スクール構想』が目指す学びは、これまで進めてきた教育に、ICT（情報通信技術）を組み合わせ、より一層の学習活動の充実を目指すものなのです。






★一人ひとりの理解度に応じた『個別学習』が実現できる

	それで、『1人1台端末』や『校内の通信環境整備』によって、どれだけよい効果が生まれるの？
	これまでは、同じ学年の決まったクラスで、子どもたちが揃って同じ内容を同じペースで学ぶことがほとんどでした。 これからは、一人ひとりが自分の端末を使って、学習を進めていくことができるようになります。同じ教室にいながら、それぞれが別々の内容の勉強もできるということです。
	確かに、学力には個人差があるし、年齢の区別だけで、一斉に同じ内容を学ぶより、自分にあった学習を自分のペースで進める方が、効率がよさそうだね。
	一人ひとりで学習を進めるので、分からないときも、その場で先生や友だちに聞きやすいというメリットもあります。
	確かに、手を挙げて質問することは、勇気がいるね。 これまでの一斉に同じ内容を学ぶ授業のスタイルと比べて、いろいろなことができそうだね。
	居場所や学年、時間の制約を受けず、個人の能力や進み具合、理解の度合いに応じた効果的な学びを目指す。 これが、『GIGA スクール構想』が掲げる「公正に個別最適化」された学びなのです。
	一人ひとりに合ったオーダーメイド型の学習っていいことだね。 さまざまな子どもたちに、よりきめ細かな対応が可能になるんだ。
	さらに、ネットワーク経由で情報をやりとりできる「クラウド」に学習データが記録され、自分の苦手分野の把握もできるようになります。 学習履歴により、弱点に集中的に取り組めば、より効率的に勉強できるはずですよ。

◎一人ひとりの反応をふまえた双方向型の『一斉授業』が可能になる

	個別学習のよさは分かったけど、一斉学習はどうなるの？ 電子黒板を使った授業は、とても分かりやすいし、楽しいけど。
	たしかに、電子黒板は、興味関心や意欲を高めるために、とても便利なツールです。 『1人1台端末』になると、もっと便利になります。電子黒板の画像を手元にある自分の「学習用端末」でも、見られるようになります。
	自分の端末で見られるようになると、席の位置に関係なく見やすくなって、分かりやすい授業になりそうだね。
	また、授業中に先生から子どもたちの端末に問題を出して、答えてもらう。 すると先生の端末で、すべての子どもの解答を瞬時に把握することが可能となります。
	これまでは、時間をかけた机間指導や授業後のノート回収をしないと全員の様子は分からず、一部の子どもの答えしか分からなかったけど。 普段、発言しない子の解答まで、その場で先生は分かるようになるんだね。
	つまり、授業中にリアルタイムで、教室にいるすべての子どもたち一人ひとりの反応を把握しながら、授業の速度を調整することも、できるようになります。
	一人ひとりの反応を見られれば、授業のペースについていけない子のフォローも、その場でできるかも。 みんなが分かっているか、分かっていないか、授業中に確認できれば、先生も自信をもって、授業を進めることができそうだね。

◎考えを即時に共有し、多様な意見にふれる『協働学習』ができる

	みんなで、一緒に考え意見を出し合う授業や、学んだことを班ごとに新聞にしたり、編集したりする授業も、なにか変わるの？
	これまでは、指名されて発言する子は、ごく数人に限られてしまうことが多い。 『1人1台端末』になると、一人ひとりの考えを、学級全体でリアルタイムに共有することも可能となります。
	そうか、発言していない友だちがどう考えているかも、端末を通じて、分かるんだね。 自分と同じだったり、違ったり、いろいろな考え方に気付くことができそうだね。
	そこからまた、双方向の意見のやりとりも可能になる。そこで、さらに新たな気付きがあるかもしれないね。 ほかにも、同時に記事や動画を集めたり、一つのワークシートをグループで同時に編集したりする作業も可能となります。
	これまで、模造紙にまとめるグループ学習だと、作業する人は正面に座っている人とか、限られていたけど。 これからは、誰かが作業している時間を待つことなく、「学習用端末」を活用して、全員が同時に作業に参加できるようになるんだね。

北区教育委員会



〒114-8546 東京都北区滝野川 2-52-10

北区役所滝野川分庁舎 2階 11番 東京都北区教育委員会事務局

【構想全般に関すること】	教育政策課	TEL:3908-9279
【端末機器に関すること】	学校支援課 学校支援係	TEL:3908-9293
【学習全般に関すること】	教育指導課 指導係	TEL:3908-9287